

一般外科・小児外科・肛門外科

1. 概要

(1) 一般外科・小児外科

2014年の手術総数は1,581件で、そのうち15歳以下の小児手術は175例。緊急手術は337件（21%）。対象疾患は、虫垂炎やヘルニアといった日常的な疾患から消化器・乳腺の悪性腫瘍まで幅広い。腹腔鏡下手術は、胃癌切除125件中18件、大腸癌切除201件中72件、肝部分切除27件中11件に対し行われた。2014年11月より直腸癌に対するロボット支援下手術を臨床研究として開始し、3件行った。乳癌手術は100件で、乳房温存手術は38例、センチネルリンパ節生検陰性は53件であった。肝切除は37件で、疾患別内訳は、原発性肝癌 19、転移性肝癌 13、胆道癌 1、その他 6。膵頭十二指腸切除は28例で、疾患別内訳は、膵腫瘍 15、胆嚢・胆管癌 6、乳頭部癌 7。上部消化管潰瘍穿孔25例のうち非手術的保存療法は7例だった。腸閉塞入院は165例のうち56例（34%）に手術が施行された。小児外科手術は名古屋大学小児外科と連携し治療にあたっており、新生児手術は4例であった。

（第一部長 加藤 岳人）

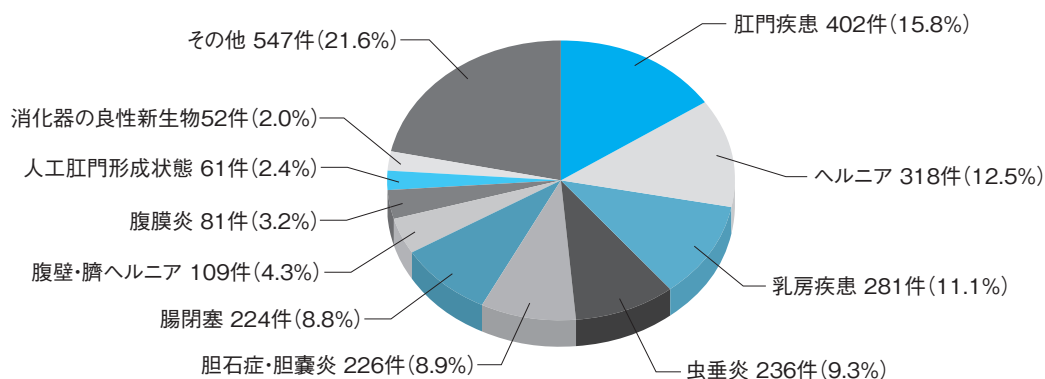
(2) 肛門外科

“肛門外科”は当院移転新設に伴い一般外科から離れ単科（こう門科）と標榜されたが、診療・治療は一般外科と共同で運営している。痔疾患など一般的な疾病を対象とするが、専門性を必要とした治療においてはやはり専門家での診療・治療を希望される患者様も多い。そのため肛門疾患のみならず、関連した直腸や大腸の病気に関する他医からの紹介もあり、日々肛門外科として診察や治療に当たっている。外来受診の際は、患者様が安心して受診できるような応対・環境整備を心掛け、特にプライバシーの面から診察で患者様に不自由・不快な思いを持たれないように努力している。良性疾患であり、治療後も日常生活に密接にかかわることから、外来処置や生活指導・薬物療法など保存治療に重きを置き、患者様の症状によってよく話し合った後に手術適応を決めている。“ストーマ外来”併設で人工肛門患者様のサポートを行っている。

（部長 柴田 佳久）

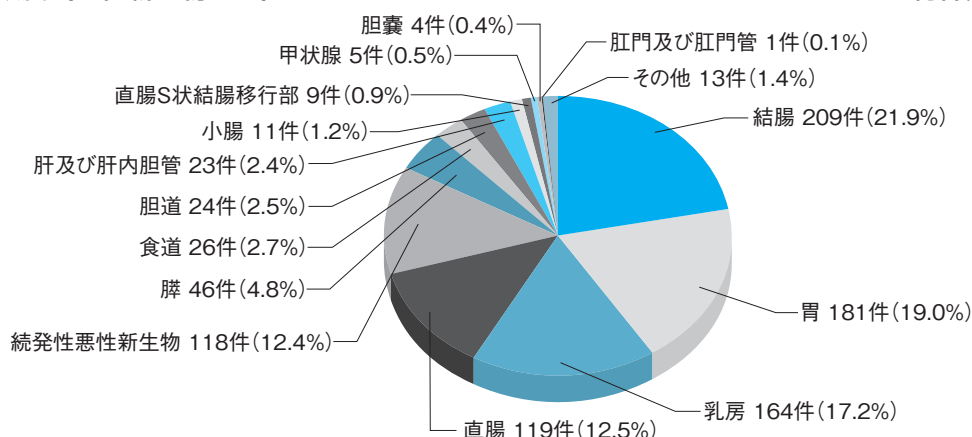
●疾患別頻度（悪性新生物を除く）

総件数：2,537件



●疾患別頻度（悪性新生物のみ）

総件数：953件



一般外科・小児外科手術数(2014年)

(例)

①一般外科	1,406
全身麻酔	1,078
腰部麻酔	72
局所麻酔	256
(ア)甲状腺	
a 良性疾患	
(a)部分切除	0
(b)葉切、亜全摘	13
b 悪性疾患	
(a)部分切除、亜全摘、他	13
(b)全摘	6
(イ)乳 腺	
a 良性疾患	8
b 悪性疾患	
(a)定型乳切	0
(b)非定型乳切(Bt+Ax)	29
(c)Bt(+SLNB)	31
(d)乳房温存手術(+SLNB)	38
(e)単純乳房切除・他	4
(ウ)食 道	
a 良性疾患	0
b 悪性疾患	
(a)胸部食道切除	5
(b)その他	1
(エ)胃十二指腸	
a 良性疾患	
(a)胃切除	0
(b)充填／その他	18

b 悪性疾患

(a)幽門側胃切除	65
(b)胃全摘	44(2)
(c)噴門側胃切除	0
(d)腹腔鏡下胃切除	16
(e)胃腸吻合	0
(f)楔状切除／十二指腸切除	9(4)
(g)PD	0
(h)単開腹／その他	1

(オ)小腸／大腸

a 良性疾患

(a)小腸切除	24
(b)腸瘻造設	5
(c)腸瘻閉鎖	18
(d)腸吻合	5
(e)結腸・直腸切除	14(5)
(f)大腸亜全摘	2
(g)癒着剥離	24
(h)経肛門／経仙骨的切除	1
(i)単開腹／その他	6

b 悪性疾患

(a)腸瘻造設	20
(b)腸吻合	2
(c)結腸切除	84
(d)腹腔鏡下結腸切除	45
(e)直腸切除	56(22)
(f)直腸切斷	14(5)
(g)小腸切除	6
(h)経肛／経仙的切除	0
(i)骨盤内臓器摘出	1

(j)大腸亜全摘	1
(k)単開腹／その他	1
(カ)虫垂炎（虫垂／回盲部切除）	117(39)
(キ)肝/胆/膵/脾	
(a)肝部分切除	27(11)
(b)肝区域／葉切除	12
(c)肝床切除	3
(d)開腹胆摘	21
(e)開腹胆摘、胆管	5
(f)ラパコレ	137
(g)胆管消化管吻合	4
(h)胆管切除	0
(i)PD	0
(j)SsPPD/PPPD	29
(k)膵尾部切除	14
(l)膵全摘	1
(m)膵管空腸吻合	0
(n)脾摘	8(6)
(o)胃腸吻合	0
(p)単開腹／その他	4
(ク)内分泌	
(a)副甲状腺	1

(b)副腎	1
(ケ)ヘルニア	
(a)鼠径大腿	187
(b)腹壁、臍、ほか	17
(コ)痔核痔瘻	5
(サ)局麻手術	
(a)摘出、生検	32
(b)その他	61
(シ)外傷／医原性	8
(ス)腹膜炎	24
(セ)腹腔内癌再発	17
(ソ)その他	41
②小児外科(全例全身麻酔)	175
(ア)新生児手術	3
(イ)そけいヘルニア	61(52)
(ウ)虫垂切除	44(20)
(エ)その他	67

※複数の術式が行われた症例では、1症例で複数件としてカウント

()内は、腹腔鏡手術

一般外科 疾患・治療法別入院患者数・平均入院日数（2014年）

入院患者総数 2,105人、平均入院日数12.2日、中央値 7 日

疾患名	治療法	患者数	平均入院日数
イレウス	手術	56	18.1日
	保存療法	109	8.5日
外傷	手術	5	16.2日
	保存療法	17	9.1日
合併症治療・抗癌剤有害事象	保存療法	54	12.1日
その他	手術	26	16.1日
	保存療法	51	12.1日
その他／悪性	手術	13	33.1日
	保存療法	3	7日
甲状腺／良性	手術	13	5.5日
	保存療法	0	－
甲状腺／悪性	手術	19	5.9日
	保存療法	1	3日
内分泌	予定手術	1	6日
非新生児	手術	150	8.2日
	保存療法	13	3.2日
腹腔内癌再発	手術	2	1.5日
	保存・緩和療法	1	21日
腹膜炎	手術	19	34.1日
	保存療法	24	12.2日
ヘルニア	手術	198	3.3日
	保存療法	5	3日
痔核・痔瘻	手術・保存療法	7	6.1日
虫垂	手術	119	4.4日
	保存療法	29	7.3日
胃十二指腸／良性	手術	18	29.2日
	保存療法	7	12.7日

疾患名	治療法	患者数	平均入院日数
胃十二指腸／悪性	手術	141	17.8日
	化学療法	24	4日
	放射線療法	1	12日
	緩和療法	29	26.8日
肝胆膵脾	手術	29	12.1日
	保存療法	29	12.1日
	手術	251	13.5日
	保存療法	54	10.7日
肝胆膵脾	緩和療法	23	18.5日
	化学療法	3	4.7日
小・大腸／悪性	手術	241	17.6日
	化学療法	25	6.1日
	緩和療法	43	16日
	保存療法	46	15.3日
小・大腸／良性	手術	34	18.4日
	保存療法	13	6日
食道／悪性	手術	6	36.3日
	保存療法	2	8.5日
	化学/放治	8	10日
	緩和療法	5	19.6日
食道／良性	手術	0	－
	保存療法	1	21日
乳腺	手術	7	2.7日
乳腺／悪性	手術	107	8.4日
	保存療法	26	12.3日
	緩和療法	16	18.9日
	化学/放治	7	21.6日

学会発表（医局）

<肛門外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	胃癌手術前後における栄養状態の 変化解析（インボディーによる体 成分分析）と周術期管理の注目す べき方向性	筆頭演者	柴田 佳久	第29回日本静脈経腸栄養学会 学術集会	2014/2/27
2	大腸癌肝転移に対する治療戦略 （ROOF試験の結果から）	共同演者	柴田 佳久	第114回日本外科学会学術集 会	2014/4/5
3	乳癌術後6年目に縦隔リンパ節転 移再発がみられ、放射線+化学ホ ルモン療法にてCRとなり10年を 経過した1例	筆頭演者	柴田 佳久	第22回日本乳癌学会学術総会	2014/7/11
4	進行再発大腸がんXELOX療法に おける多職種チームマネーজেメン トの観察研究SMILE Study	共同演者	柴田 佳久	第52回日本癌治療学会学術集 会	2014/8/29
5	稀な巨大会陰腫瘍 （Angiomyofibroblastoma）の1例	筆頭演者	柴田 佳久	第69回日本大腸肛門病学会学 術集会	2014/11/7

研究会発表（医局）

<肛門外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	局所進行直腸癌に対し、化学放射線治療後に切除し、その後リンパ節再発をみたが、重粒子線治療にて改善し初回術後「6年を経過している1例	筆頭演者	柴田 佳久	第19回東三河消化器癌治療研究会	2014/3/7
2	外来における終末期患者の意思決定への援助を考える	共同演者	柴田 佳久	第24回愛知三河緩和医療研究会	2014/3/8
3	特別講演 NSTって栄養カロリーのことだけ言っているんじゃない	筆頭演者	柴田 佳久	金沢南地域連携勉強会	2014/6/10

座長・司会（医局）

<肛門外科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	ストーマ排泄障害患者への教育・支援セッション	柴田 佳久	第31回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	2014/2/22
2	ICU・救急患者の栄養管理	柴田 佳久	第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会	2014/2/27
3	特別講演 がん終末期における輸液栄養治療を取り巻く問題（旭川医大緩和 中島信久）	柴田 佳久	第24回愛知三河緩和医療研究会	2014/3/8
4	特別講演 褥瘡ケアから現場の質を変える：後藤俊介；足助病院	柴田 佳久	第19回豊橋ストーマ・創傷処置連絡協議会セミナー	2014/5/31
5	特別講演・教育講演 当番会長・座長	柴田 佳久	第8回日本褥瘡学会在宅褥瘡セミナーin愛知	2014/6/15
6	症例検討と特別講演 総合司会	柴田 佳久	第23回東三河外科治療懇談会	2014/6/19
7	カテーテル塞栓術とdamaged control surgeryが奏功した外傷性SMA損傷の一救命例	柴田 佳久	第15回三河重症疾患研究会	2014/6/28
8	特別講演 総合司会	柴田 佳久	三河重症疾患meeting 2014	2014/7/12
9	緩和医療と褥瘡：ワークショップ	柴田 佳久	第16回日本褥瘡学会学術集会	2014/8/30
10	P P E Gと総合青山病院	柴田 佳久	第16回東三河地域連携栄養カンファランス	2014/10/3
11	がんチーム医療ワークショップ参加後の自院での取り組み	柴田 佳久	東三河がんチーム医療勉強会	2014/11/14
12	特別講演 電子連絡帳により褥瘡治療の連携について：山内智之	柴田 佳久	第20回豊橋ストーマ創傷処置連絡協議会セミナー	2014/11/15
13	特別講演 集中治療室における鎮静管理について	柴田 佳久	豊橋市民病院呼吸ケアチーム勉強会	2014/11/19
14	呼吸ケアチームの滑動と胸部写真の読影	柴田 佳久	呼吸ケア定期勉強会	2014/12/10
15	特別講演 誤嚥性肺炎予防・嚥下内視鏡検査。胃瘻。成分栄養剤の利用法	柴田 佳久	豊橋・豊川・蒲郡エリア経腸栄養勉強会	2014/12/17

講演（医局）

<肛門外科>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	発表年月日
1	特別講演 人工肛門について	柴田 佳久	愛知三河ストーマ友の会	2014/3/8

論文・著書 (医局)

<肛門外科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	術前化学放射線療法で病理学的完全奏効 (粘液変化) となった局所進行直腸癌の 1 例	筆頭著者	柴田 佳久	外科 76 9 1053-1056 2014